



春日新50年プランによるまちづくり

Vol. 12

魅力ある春日の未来図を実現するため、(A)市民活動拠点の整備、(B)都市機能の向上推進、(C)歴史自然景観の整備の3つの視点(プラン)による都市づくりを推進していきます。



▲春日新50年プラン



★表紙関連

春日西多目的広場公園 (新幹線の見える丘) の整備

全市的にバランスのとれたスポーツ環境を確保するため、西野球場と北側隣接地を一体的に活用した春日西多目的広場公園の整備を進めています。

スポーツだけではなく、地域のコミュニティ活動や交流イベント、子どもたちのボール遊びなどが行えるよう、多目的広場を広く設け、災害時の活用も想定した整備を行います。

公園内の「新幹線の見える丘」からは、博多総合車両所に並ぶ新幹線を見ることができます。この特性を生かし、より一層魅力的なスポットとなるよう、展望施設を令和8年春までに整備する計画です。新幹線を身近に感じることができるよう、遊び心のあるワクワクするような公園整備を進めていきます。完成を楽しみにしています。



▲展望施設周辺整備の将来イメージ図

問い合わせ先 都市計画課公園担当 ☎(584)1111(代) ☎(584)1143

プラン B

西鉄春日原駅周辺で容積率を緩和

西鉄春日原駅周辺では、新駅舎の完成や駅周辺整備に合わせて、市の「都心」にふさわしく、回遊するだけで心が躍るようなまちづくりを目指しています。

市民の皆さんの笑顔があふれる魅力的なエリアとなるよう、にぎわいの創出に向けて、容積率の緩和が可能となる「高度利用型地区計画」を導入する準備を進めています(令和7年秋に運用開始予定)。

ビルなどの建物の1階に店舗や飲食店などの人が集う施設を配置する、憩いの場となるようなオープンスペースを確保するなど、一定の要件を満たす建築物は、最大で200パーセントの容積率の緩和(容積率の上乗せにより、例えば、6階建てが8階建てになるイメージ)を受けることができます。詳しくは問い合わせください。

問い合わせ先 都市計画課計画担当 ☎(584)1135 ☎(584)1143

